



2019-2020
No.1602
2020.1.23

会長：赤井幸夫 幹事：石坂一男
会員数：45 会場出席：29 欠席：16
出席率：64.44% 前々回出席率：84.44%
点鐘：赤井幸夫会長 司会：小澤博之 副S A A
ロータリーソング：我等の生業（タクト：澤野るみ子）
例会場：ホテルペラヴィータ 3F 12:30～

お客様

NPO法人 手をつなごう 小田充代様

会長の時間

赤井幸夫 会長



本日は『船井幸雄 名言集』より紹介いたします。
環境は人が作る

私は、自分に起こることは、すべて自分が源泉だと考えています。そう思えば、状況を変えるには自分が変わればいだけですから、すぐに対策を考えられます。

責任逃れの人は、よく「何々してくれない」と、くれないという言葉や発想を多くもっているようです。すべて自分から行動を起こさなかったことを棚に上げて、相手を責めるわけです。なぜ、その人が自分から行動を起こさなかったのかを考えてみると、それらの人たちはみんな、リスクと責任をもたずにいこうとするから、例えば情報というのは自分から取りに行くべきなのに待っている、という姿勢なのです。そんな姿勢では、決して道は開けません。

もし、逃げ腰をやめてリスクと責任をもつことを覚悟して生きれば、人生は大きく開けていきます。もちろん、当面は厳しく辛い思いをすることでしょう。リスクと責任をもつ生き方で勝ちぐせがつくまで、それは三年かかるか、五年かかるかわかりませんが、この正しい生き方を自分のものにしない限り、人生は素晴らしいものにならないし、生きてきた甲斐がありません。運命とは、命を運ぶことだと言います。命とは、正しい人間観に基づいたほんとうの自分の使命です。その使命も自分で運ばなければ果たせませんし、幸福はやってきません。

タクト



澤野るみ子 会員



幹事報告

石坂一男 幹事



- ①国際ロータリー第2530地区のガバナー事務所より、『復興フォーラム』への参加・登録のご案内が来ております。“3月11日から『未来へ、伝えつなげるふくしま』”のパンフレットを回覧します。日程は2020年3月21～22日で、申し込み期限は2月14日です。参加希望者は幹事までお願いします。
- ②先週、沼田RCより第5分区分Mの案内がございましたが、3月8日(日)開催で全員登録となっておりますので、皆様出席の程よろしくお願い致します。
- ③沖縄首里城の火災被害支援金として集まった18,810円を地区へ送金致しました。皆様のご協力に御礼申し上げます。

出席報告

増田安永 副委員長



沼田中央RC 35周年記念実行委員会より

小林照夫実行委員長



奉仕プロジェクト委員会より

植村 仁 委員長



沼田社会福祉協議会へのタオルの寄付のお願い。
今年も2月13～20日まで『ゆうあい作品展』が開催されますので、ご協力を。



赤井 幸夫

NPO法人手をつなごう 小田充代様、卓話楽しみにしています。ようこそいらっしゃいました。

國府田 坦

中国の湖北省武漢市から感染が広がった新型コロナウイルスによる肺炎で、今朝のNHKテレビで死者17人と報道された。すでに日本・米国・台湾でも患者が確認されている。2003年(平成16)の新型肺炎SARS(サーズ)の大流行が思い出される。7月開催の東京五輪前の終息を願っている。中国が発表する患者と死者の実数は小さく抑えられているようだ。

小林 照夫

先日行われた卓球の全日本選手権は、男子シングル宇田選手・女子シングル早田選手が、東京オリンピック出場予定の張本選手・石川選手を破り優勝した。卓球界も進化していますね。早田選手・宇田選手、おめでとう。

内田 久三

じゅんいち君はお元気ですか？ 小田様の卓話を聴きに参りました。

原澤 ふじ子

誕生日のお花、ありがとうございました！



NPO法人 手をつなごう 「ささえあい」活動

地域の社会資源を繋いで、ささえあうしくみを創りたい。

【現状】

足腰が弱くなって、電球交換や雪かきができない、自由に買い物に出かけられない…など、高齢化が進む利根沼田地域の人たちの不安は尽きません。地域住民とのワークショップを通じて見えてきたさまざまな困りごとを、ワンストップで受け止めみんなで解決していくために、「まるごと相談所」と「外出・移動支援」事業を始めました。その人らしく地域で暮らし続けるために、柔軟に対応できる多様な“ささえあい”が必要です。



クラブ管理・運営委員会の澤野のみ子会員より卓話者の紹介。

NPO法人 手をつなごう

小田充代様 (社会福祉士・精神保健福祉士)

地域包括ケアシステム ～私たちにできること～



2020.1.23
NPO法人 手をつなごう
利根沼田ひと・まち・しごとづくりセンター ささえあい
副会長 小田充代

“じぶんの町を良くする” 活動を選んで、寄付で活動に参加する つかいみちを選べる赤い羽根募金



【取組内容】

- ・ 日常の困りごとをまるごと受け止める相談所の運営
- ・ 多様なささえあいを実現するための連携先の拡充
- ・ 相乗りタクシーを利用した移動支援

【めざす成果】

専門機関や企業・市民活動団体・個人の連携の輪が広がり、多様なささえあい活動が可能になることで、困りごとを抱えた人がためらうことなく声をあげ、地域で暮らし続けられるよう支援します。